

福祉広報

ばんだい



第47号

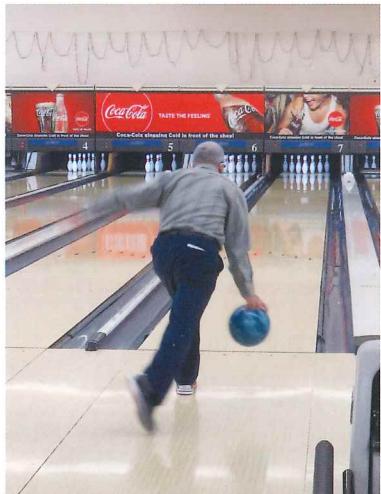
令和4年3月発行

発行所

社会福祉法人

磐梯町社会福祉協議会

73-2181、3022



老人クラブ各種活動

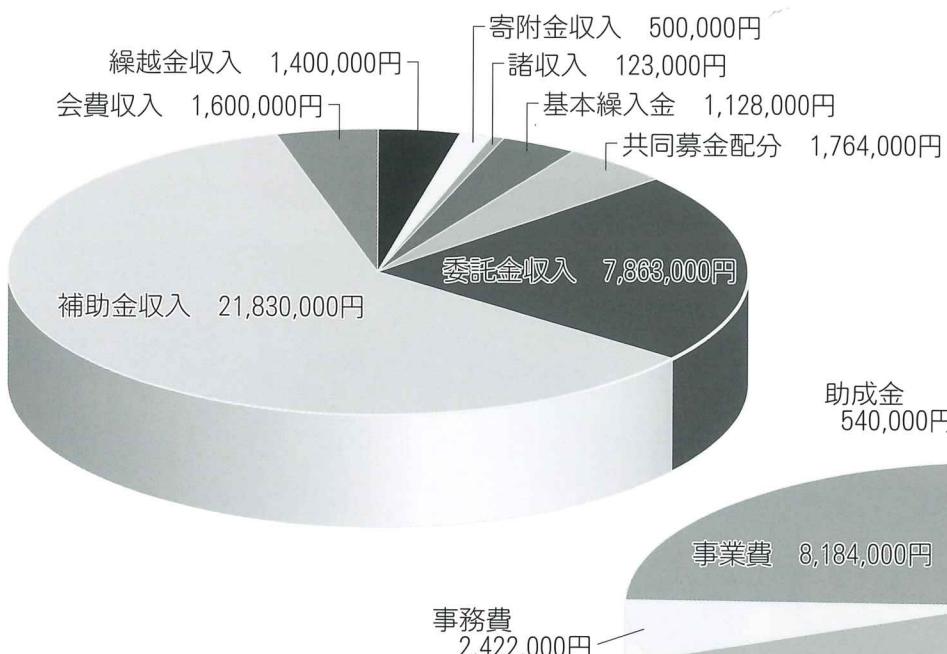
関連記事：5ページに記載



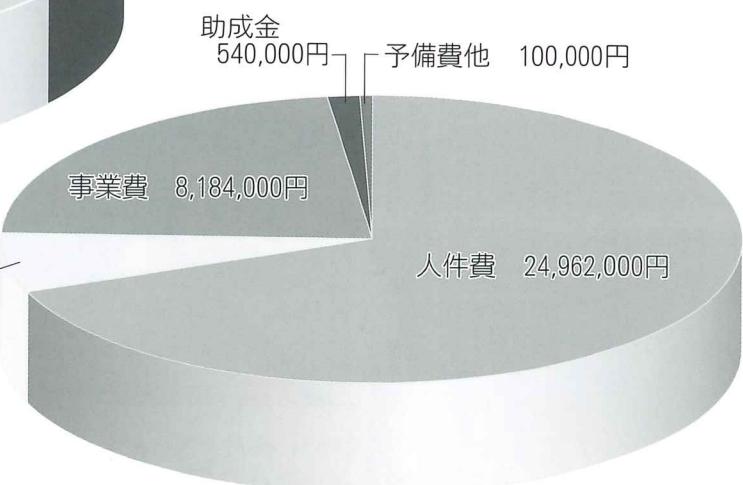
令和4年度の予算状況

予算総額 36,208,000円

収入



支出



◆◆ 令和4年度事業計画 ◆◆

少子高齢、人口減少を背景に、地域の福祉・生活課題が多様化し、潜在化する中で、様々な生活課題を抱えた方々への支援体制の充実が必要とされています。

このような中、住民による地域福祉活動の支援が、地域課題の解決に向けて重要な役割を果たしていくまです。社会福祉協議会は、地域共生社会の実現に向けて住民同士が支え合う環境づくりを進めるため、また、生活課題を抱えた方々を支援するため、これまで以上にその専門性を発揮していくことが求められています。

このため、本会は生活支援を行う担い手の育成・発掘・新たな活動の創出など、高齢者の支え合う地域づくりができるよう、地域包括ケアシステムのあり方を構築してまいります。更には、要介護状態等となることの予防、要支援状態の軽減もしくは悪化の防止及び自立した日常生活を営むことができるよう、生活支援ホームヘルプサービス事業・介護予防体操教室、ミニデイサービス事業を実施いたします。「町民一人ひとりが、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉社会」の実現に向け、民生委員や保健及び医療等関連領域機関団体との連携を一層密にし、地域福祉の要として事業の推進にあたり、町民のくらしと福祉のより一層の安定を図ります。

主な事業

項目	実施事項	実施内容	
1. 地域福祉活動の充実強化	介護予防・生活支援事業の実施	介護予防健康増進事業の実施（しゃんしゃん生き生き体操教室）毎週火曜日 全48回実施	
		ミニディサービス事業の実施 毎週火曜日 月3回実施	
		介護予防生活支援ホームヘルプサービス事業の実施	
		介護予防生活支援体制整備事業の実施（生活支援コーディネーター配置）	
		高齢者世帯日常生活支援相談事業の実施（相談支援員の訪問）	
		一人暮らし世帯親睦交流事業（食事サービス）の実施	
		外出支援サービスの実施（一般の交通機関を利用することが困難な高齢者の医療機関等の送迎）	
		高齢者世帯等除雪サービス事業の実施	
		一人暮らし等高齢者世帯の防火診断（安否確認）町・消防署	
		一人暮らし高齢者の日常生活必需品買い物支援の実施 年2回実施	
2. 心配ごと相談事業の推進	心配ごと相談所の開設	一人暮らし等高齢者へのメッセージカード贈呈事業の実施	
		日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）の実施 金銭管理・支払代行	
	健康維持増進事業の実施	福祉車両（車椅子同乗）の貸出	
		ギャジベッド・エアーマット等福祉機器の貸出	
	要援護世帯の自立更生促進	敬老祝い品贈呈事業	
3. ボランティア活動の推進		健康ウォークの実施（4月～10月）	
		ニュースポーツの普及による健康維持増進を図る。	
		生活福祉資金の利用促進を行い、生活の維持と安定を図る。	
		生活困窮者自立促進支援事業の促進	
		歳末たすけあい募金の配分	
ボランティア活動の普及	心配ごと相談の機能強化		
	毎月2回開設（第3日曜日、25日）[定例相談]		
	児童相談の開設（毎月25日）[定例相談]		
4. 広報・啓蒙活動の推進	心配ごと相談の機能強化	各種相談員研修会等に参加し資質の向上に努める。	
		関係機関との連携により相談者のさまざまなニーズに対応する。	
		ボランティア研修会等への参加促進	
		ボランティアインターネットを活用し情報収集提供を図る。	
	ボランティア・福祉教育の推進	ボランティアセンター等の整備促進	
5. 老人福祉センターの運営		社会福祉（ボランティア）講座の実施	
		福祉出前講座の実施（車椅子体験、高齢者疑似体験、認知症サポータ養成講座等）	
		小中学校を拠点とし福祉活動を実践する児童生徒のボランティア活動普及事業の推進・助成	
		児童生徒の福祉に対する理解と関心を図るために、高齢者擬似体験等を通じ福祉教育を実践する。	
		児童生徒に対し認知症サポーター養成事業を通じ福祉教育を実践する。	
		福祉関連の情報収集・提供を図る。	
		ホームページによる情報の配信	
		広報誌の発行、町広報等への記事掲載	
		第30回磐梯町社会福祉大会の開催	
		第30回磐梯町社会福祉大会の開催	
6. 福祉団体の育成	施設の管理運営	適切な施設の運営管理を行い、利用者への良質なサービス提供、利用促進を図る。	
	各種事業の推進	入浴開放事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る	
	各福祉団体の育成指導協力	各種教室事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る	
7. 共同募金会事業の協力	共同募金会活動の協力	民生児童委員と連携を密にし、福祉サービスの充実強化を図る。	
	赤い羽根募金の推進	老人クラブ連合会と連携を強化し高齢者福祉の充実に努める。	
	歳末たすけあい募金の推進	身体障害者福祉会と連携を強化し身体障害者の自立更生、社会参加活動を促進する。	
	赤い羽根募金活動の積極的な展開	福島県共同募金会磐梯町委員会事務局事務、町委員会活動の実施	
	配分金による各福祉団体への助成	赤い羽根募金活動の積極的な展開	
	配分金による各福祉活動の充実を図る。	配分金による各福祉活動の充実を図る。	
	歳末助け合い募金活動の積極的な展開	歳末助け合い募金活動の積極的な展開	
8. 日本赤十字社事業の協力	日本赤十字社活動の協力	民生児童委員の協力により、配分対象者の調査、配分の実施	
		一般公募による配分により小地域福祉活動の充実を図る。	
		日本赤十字社福島県支部磐梯町分区事務局事務、分区活動の実施	
9. 財政基盤の確立	日本赤十字社活動の協力	日本赤十字社社資増強運動の実施	
	会員加入促進	献血運動の推進	
	会員加入促進	会員の加入を促進し自主財源の確立に努める。	
	共同募金活動の推進	特別会員、賛助会員の加入促進	
	赤い羽根募金活動の積極的な展開により財政基盤の確立に努める。	赤い羽根募金活動の積極的な展開により財政基盤の確立に努める。	

福島県身体障がい者更生援護功労者表彰



佐藤孝子さん（更科団地）は、身体障がい者等の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められたため、このたび第六十九回福島県身体障がい者福祉大会にて表彰を受けました。孝子さんは現在施設入所中のため、入所先の町内介護老人保健施設「りんどう」にて、表彰状と記念品をお贈りさせていただきました。

佐藤さんは入所先でも穏やかに過ごされており、明るい笑顔が印象的でした。

十月十五日に須賀川市文化センターにて開催を予定された、福島県老人クラブ連合会設立六十周年記念第三十四回福島県高齢者福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年は開催を見合わせることとなりました。当日、式典で表彰される予定であった二名分の表彰状が届いたため、一月七日の町老人クラブ単位会長会議にて、贈呈式を行いました。町老人クラブ連合会長より表彰状が送られました。

福島県老人クラブ連合会長表彰



佐藤貞夫さんは平成二十年に赤枝老人クラブの会長に就任し、平成二十二年からは老人クラブ連合会副会長に就任され、現在に至るまで会員増強や健康増進、友愛活動などの活動に貢献されています。

福寿会（妙法原・塩ノ原・大曲・更科団地）は会長（古川重幸さん）を中心に会員数の拡大を図り、四つの行政区の合同で、現在四十名の会員で定期的な奉仕作業や友愛訪問、グラウンドゴルフなどの活動を意欲的に実施されています。今後ともご指導ご協力をお願ひいたします。

☆受賞者

右から

- ・地域高齢者福祉活動功労者
佐藤 貞夫（赤枝）
- ・活動の優秀な老人クラブ
福寿会

十二月二十四日に、今年二回目となる、ひとりぐらし高齢者が対象の買い物支援を実施しま

**ひとりぐらし高齢者
買い物支援**



一人暮らしで外出する機会が少なくなっている方も、顔馴染みの方と外出できる貴重な時間が過ごせたのではないかと思います。

した。今回は「ダイユーエイト（会津若松店）」と「ヨークベニマル（一箕町店）」に出掛けました。今回の参加者は八名となっており、前回より少し多い人数で、移動中のバスの中でもぎやかに談笑しながら目的地に向かいました。

ダイユーエイトでは、皆さん主に生活用品を中心を見て回られ、参加者同士で話しながら必要なものを購入していました。ヨークベニマルでは、食料品はもちろん、衣料品を見るのを楽しみにされていた方も多くおられたため、皆さん笑顔で店内をご覧になられていました。

ばんだいっ子クラブ ビニール凧づくり



多世代による子育て応援事業として、老人クラブと地域の子育てサークル等が連携し、社会全体で子育てを支援する環境づくりを行うために、地域に寺子屋を設置して高齢者世代と子ども、その親が互いに交流する機会を作ることを目的として、十二月二十七日に町公民館にて、公民館が主催する事業の一つである、ばんだいっ子クラブと連携してビニール凧づくりを行いました。町老人クラブ会長、副会長の三名と地域の小学校児童八名、保護者一名が参加し、凧に好きなキャラクターの絵を描いたり、老人クラブ会員の指導のもと凧を組み立てたりと、樂

毎年恒例の町老人クラブ連合会主催のボウリング大会は今年で十回目を迎えました。三十三名の参加のもと、十一月十日に会津若松市の「ボウルサンシャイン」にて開催されました。



町老人クラブ連合会 ボウリング大会

しそうに交流する様子が見受けられました。凧が完成した後、ちょうど天候が改善したため、外に出で凧あげを行いました。楽しそうに走り回る児童の姿を見ながら、児童の保護者や老人クラブ会員も思わず笑みがこぼれてしまうほど、楽しいひと時を過ごすことができました。子どもたちとの交流に、元気をもらえていたようでした。

男子の部
・優勝 佐藤 忠人（大寺五区）
・準優勝 武田 哲夫（本寺）

結果は次のとおりです。

今回も二ゲームの合計得点で競い、投球ごとに歓声が沸き起つたり、結果に一喜一憂しながら盛り上りました。参加者が一同に楽しめた大会となりました。

ル、公式ワナゲの三種目で行いました。各種目で高得点を狙つて取り組まれ、チームを問わずに歓声が上がり、会場が一体となつて楽しまれていました。

町老人クラブ連合会 二コースポーツ大会



結果は次のとおりです。

個人男子の部

・優勝 佐藤 忠人（大寺五区）
・準優勝 秋山 喜秀（大寺五区）

個人女子の部

・優勝 穴澤 園子（大寺五区）
・準優勝 佐藤 吉江（赤枝）

高齢者の健康維持と相互のふれあいと交流を深めることを目標として、高齢者の健康・生きがいづくりの一環として「いつでも、どこでも、誰にでも」気軽に参加できるように、今年は十一月二十四日に町民体育館にてニュースポーツ大会を開催しました。参加者は、五十六名で

ラダーゲッター、スカットボーリング」にて開催されました。

・優勝 佐藤 忠人（大寺五区）
・準優勝 大寺五区Bチーム

***赤い羽根共同募金**

募金種類	件 数	金 額
戸別募金	1,031	515,500
法人募金	21	136,000
職域募金	3	120,765
学校募金	2	11,285
その他の	3	1,474
計	1,060	785,024

***歳末たすけあい募金**

募金種類	件 数	金 額
戸別募金	1,015	507,500
職域募金	2	424,479
その他の	2	11,560
計	1,019	943,539

赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動（十月～十二月）は各行政区長、民生児童委員並びに町内の事業所、各種団体のご協力により、温かい善意をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

共同募金の役割は「社会福祉法」において「地域福祉の推進」と定められており、皆様からお預かりした善意は福島県共に役立っております。地域福祉の推進を目的とする共同募金は「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに掲げ運動を進めております。今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

令和三年度 共同募金報告



共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）とは

●赤い羽根共同募金（10月～12月）

共同募金運動は、社会福祉事業を支える重要な運動で、募金を通して社会福祉活動に参加し、尊い善意を社会福祉事業に活用する運動です。

●歳末たすけあい募金（12月1日～31日）

歳末たすけあい募金は、町内に住む方々（高齢者、要援護世帯、障がい者）が安心して新しい年を迎えるように助け合う運動です。

共同募金の組織

- 共同募金は国や市町村ではなく、共同募金会という民間の団体によって、都道府県を単位としておこなわれる募金です。
- 全国の各都道府県に共同募金委員会があり、その内部組織として市町村社会福祉協議会の中に「共同募金委員会」と呼ばれる組織を設置しています。

磐梯町における配分金の使い道・主な事業について

●高齢者の事業

- ・町民の方を対象に、毎週火曜日に介護予防の体操教室（しゃんしゃん生き生き体操・ミニディサービス）を実施。
- ・老人クラブのスポーツ大会等の開催。
- ・身体障がいの方を対象に、スポーツ大会や交流会を通じた社会参加の支援。

●児童生徒の事業

- ・福祉教育の一環として、児童生徒のボランティア活動の助成。
- ・小学校の児童から一人暮らしの高齢者の方にメッセージカードの贈呈。

▲△▲～磐梯町の宝物～ 結まちばんだい ▲△▲

生活支援体制整備事業とは

住み慣れた町で元気に暮らしていくには楽しみを持ち、生きがいを感じることが最も重要です。生活支援や介護予防の基盤整備に取り組む事業です。

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の仕事とは

フレイル（虚弱）にならないためには運動・食事・社会参加が大事といわれており、中でも人とのつながりを多く持つことが衰えない身体を作るともいわれております。磐梯町の元気の秘訣や支え合いを聞きにお茶飲み場やサロンに顔を出し、コロナ禍でも人とのつながりを切らないように見える化をして集まることの大切さを知っていただき、交流の場を増やしていく仕事をしております。

元気の秘訣は趣味や楽しみを持つことです！

素敵な活動をご紹介いたします♪



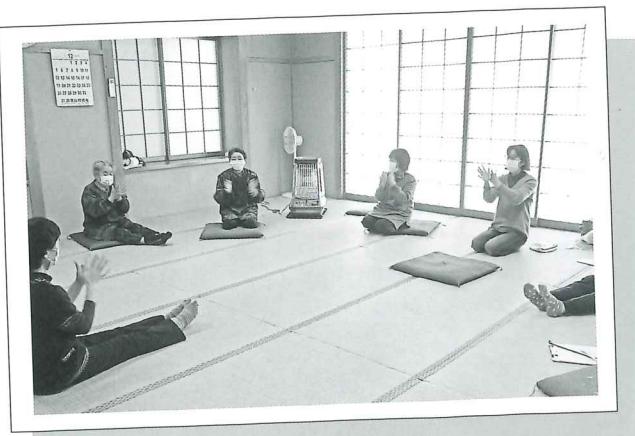
エコクラフトバッグづくりにお邪魔しました



大寺二区老人クラブの茶話会にて

最近では外出する機会がめっきり減り、筋力や免疫力が低下しております。つながりを維持している活動等があればぜひお声掛けください。

生活支援コーディネーター
大 関



上西連地区あつまつペ会の体操の様子

新型コロナウィルス感染症の影響による休業や失業等で生活資金にお悩みの皆様へ

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

生活福祉資金貸付制度は、新型コロナウィルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、償還免除の特例を設けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。

(受付期限は令和4年6月末日を予定しています。)

申込先

社会福祉協議会事務局 ☎ 73-3022・2181

まずはお電話でお問い合わせください。

ご寄附ありがとうございました。

このたび、社会福祉協議会にお亡くなりになられた方のご遺志により社会福祉の増進のためにと次のとおりご寄付がありました。

厚くお礼申し上げますとともに、お亡くなりになられました方のご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略します)
匿名 1件
会津ヤクルト販売株式会社
五十嵐 光雄（入倉）故 澄子

「福祉の仕事相談会」のお知らせ

福島県社会福祉協議会人材センターでは、「福祉の仕事相談会」を開催し、福祉の職場で働きたい方の求職登録受付や資格取得等の相談を行っております。福祉の職場に興味のある方はぜひご利用ください。

○日時	○場所
5月18日(水)	会津若松市社会福祉協議会
6月15日(水)	
7月20日(水) (午前10時30分～ 午後2時30分)	○お問い合わせ先 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター TEL 024-521-5662



地域を盛り上げていきたいと思つてあります。皆さんのが理解とご協力をいただきながら、共に地域への参加等、先生方の苦労がいを持って過ごすことがでます。皆さんのご理解とご協力をいただきながら、地域の皆さんが互いに支え合い、つながり、生きていらっしゃいます。皆さんのが理解とご協力をいただきながら、地域の皆さんが互いに支え合い、つながり、生きていますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

災害義援金を受け付けしております

○「令和4年3月福島県沖地震災害義援金」を受け付けしております。皆様方のご協力をお願いいたします。

<受付期間>

令和4年6月30日まで

日本赤十字社磐梯町分区事務局まで

(磐梯町老人福祉センター内)

○「ウクライナ人道危機救援金」を受け付けしております。皆様方のご協力をお願いいたします。

<受付期間>

令和4年5月31日まで

<協力方法>

1. ゆうちょ銀行・郵便局によるご協力

口座番号 00110-2-5606

口座名義 日本赤十字社

2. 銀行振り込みによるご協力

① 三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787781

② 三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105784

③ みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0623471

口座名義はいずれも「日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）」

*詳しくは日本赤十字社のホームページ

(https://www.jrc.or.jp/) をご参照ください。

令和三年七月に入職し、広報作成時点で九ヶ月が経過しました。今までとは違う仕事内容に日々苦戦しながら、「早く慣れよう、覚えよう」と忙しく毎日を過ごしています。

編

集

後

記

磐梯町社会福祉協議会 ホームページ URL <https://bandai-shakyo.jp>

この広報は、赤い羽根共同募金から寄せられた配分金により発行しております。



QRコードはこちら